

2,200人の思い……熱いぞ・さいたま！！

## 集団的自衛権行使容認絶対反対

### —7.21オールさいたま市民集会—

#### 集団的自衛権絶対阻止 の思いを込めて

元町：小林 達男



第6グループでパレードするとりうみさん

暑い最中、2200人以上の方々に参加したことは凄い。それだけ憲法を守る、戦争する国にしてはならないという思いがあるからでしょう。戦後これまで平和であったのは「日本国憲法」のおかげだと思います。世界遺産に申請しようとする動きもあります。その憲法を総理大臣の解釈で変えようなど、許されるわけがありません。元自衛隊員のあいさつを聞けば、今、一番不安に思っているのが自衛隊員だとよくわかります。外国で他民族の人と殺し合いの戦争をするなど、出来ないでしょう。日本の平和と安全を守るためには、安倍政権が推し進める「集団的自衛権」を絶対

阻止しなければいけないと感じます。その思いを込めてパレードにも参加しましたが、暑かったです。

#### 戦争を知らない

#### 戦後生まれだからこそ

常盤：海野 照美

前回の安倍さん登場の折には、「美しい日本」、「戦後レジームからの脱却」なんて変(!)な言葉にいやーな気持ちにさせられたものです。が、なんと、再登場したと思ったら、学習した(?)彼は慎重に事を進め、あれよあれよという間に秘密保護法や消費税増税を決めて、今また集団的自衛権の行使容認を閣議決定してしまった!

なんて怖い戦後生まれの首相、これまでの自民党の個性的な首相の顔を思い出すと、それらの人々がおおらかで優しくなかったのではないかとさえ思えてくる【錯覚でしょうが】ほどです。

7月21日の市民集会にたくさん集まって、本当に良かったです。駅頭宣伝しているときに、「自分も手伝います」と飛び入り参加してくれた若い女性がいましたが、そういう、良識ある人々と手をつなぎ合って、平和を希求する勢力を大きくしないといけないなあと感じています。この暑い夏にめげそうですが、頑張っていきたいですね。

# というみ敏行候補へのインタビュー I have a dream!! — 復活にかける強い決意 —



紹介します。

先日、後援会事務局では来年行われるさいたま市議会選挙で浦和区から立候補予定の前市会議員、とりうみ敏行さんに革新懇事務所でインタビューを行いました。復活にかける強い意欲を語っていただいたその模様を、ご

## Q. あらためて、とりうみさんのこれまでの生い立ちをお聞かせください。

**A.** 1948年8月15日、終戦記念日に東京都新宿区若葉町で生まれ育ちました。信濃町に近いところです。若葉町というのは戦後の新しい町名で、戦前は谷町といわれ社会の底辺の人が多く早くからセツルメント活動が盛んなところでした。

父親はサラリーマンでしたが祖父はとび職でした。決して裕福ではなかったけれども子供のころはガキ大将でしたね。四谷第1小学校、四谷第1中学校、私立保善高等学校へと進みます。高校は男子高でラグビーの強いところです。その後、駒沢大学経済学部に進みましたが、2年後半の時原因不明の病気で休学しました。あとで脊椎カリエスであることがわかり約2年間の入院生活をして復学するのですが、完全に治らず正式に中途退学しました。この体験はその後の私の人生に大きく影響したと思います。

仕事の方は、脊椎カリエスが完全に治る25歳までアルバイト生活でした。その後第一家電という当時急成長していた家電販売店に事務職で入社し、主に独自のクレジットシステム関係の仕事をしました。

その間1981年、浦和市三室に転居しました。現在は瀬が崎に住んでいます。浦和に来て33年になります。

1994年の12月に21年勤めていた第一家電を辞め、当時共産党の小川志津子議員の後任の候補として1995年1月に立候補しました。阪神淡路大震災のあった年です。残念ながらこの時は落選してしまいましたが、次の1999年の二度目の選挙で初当選、以来3期12年市会議員を務めることとなります。1期目は浦和市として最後となる議員で、2年後に政令市になります。2期、3期は浦和区選出の市会議員になります。前回2011年の4期目は残念ながらわずか6票という僅差で落選してしまいました。議会へは本当に皆様の方で送っていただいたと思っていますので、大変申し訳なく悔しい思いをしています。現在来年3月の一斉地方選挙での復活を目指し日々奮闘しているところです。

## Q. とりうみさんの人となりについていろいろお聞かせください。趣味、スポーツ、愛読書などです。

**A.** 趣味はドライブです。特に街道や山道が好きです。ハイキングを兼ねたり歴史探索に絡めて行ったりします。

そういえば、だいぶ昔の話ですが4泊5日で山形県の鳥海山周辺に行ったことがあります。父の存命中、山形県の郷土史家の方から手紙が来て、あなたのルーツは、山形の遊佐町あたりではないかというのです。昔、当地では、阿部一族が栄えており、別の名「鳥の海」と名乗っていたそうです。特に強い人は「弥三郎」という名をつけていて、「鳥の海弥三郎」と言ったそうです。父の名前がまさに鳥海弥三郎だったからなんですね。勿論、過去帳がないのでそんなことはわかりません。ただそういうこともあるかもしれないということで、ルーツを訪ねるドライブをしてきました。

当時は「炎立つ」というNHKの大河ドラマもあって、藤原一族と阿部一族、今の安部首相一族ではありませんが、攻防の歴史などにも関連して



いたものですから。その時の撮影セットも観て廻りました。歴史が好きなのです。

好きな作家は松本清張と司馬遼太郎ですね。清張の推理小説はほとんど読みました。「砂の器」とか、「ゼロの焦点」とかいいですね。「砂の器」の映画では、最後のシーンが埼玉会館でしたね。よく覚えています。松本清張のいいところは社会が描かれていることで、共感するところが多いことです。

司馬遼太郎は小説というよりは随筆。「街道を行く」や「この国のかたち」とかがいいですね。あの文体にふっと惹かれますね。必ず歴史に関係させているから興味が湧くのですね。

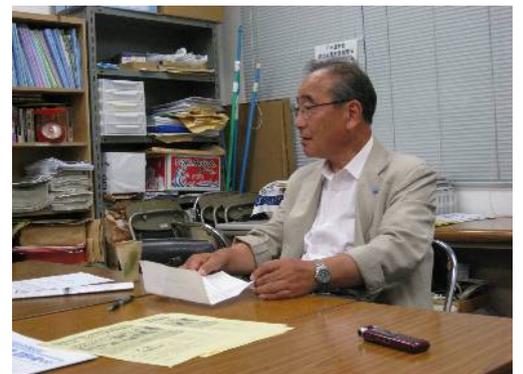
スポーツですが中学、高校ではずっと陸上競技をやっていました。

最初は短距離でしたが、途中から棒高跳びに移りました。当時は、まだ竹が主流で、グラスファイバーが出始めたところでした。竹は折れると危険なんです。完全に折れないものだから回転しないので頭から落ちることがある。グラスファイバーは折れるので回転できるのですが、使う人はまだ一部の人でした。最高記録は竹で3メートル80です。グラスファイバーは使いこなせなかったですね。短距離は11秒8が最高でしたが、それでは通用しませんでした。ただ、そうした病気をしたこともあって残念ながら現在は特に運動をしていません。

**Q. 奥さんとの出会いや、被災地のボランティア活動についてお聞かせ下さい。**

**A.** 彼女は代々木病院にあった付属看護学院2期生で、代々木病院に勤めていました。整形外科で手術室にいて、私も整形外科に入院してましたので、そこで出会いがあって気がついてみたら結婚に至ってました。結婚後も、若葉町にあったセツルメント診療所に看護婦として勤めていましたし、浦和に来てからも協同病院などに勤めていました。

東日本大震災後の福島に被災地にボランティア活動に何度も行ってますが、よく持続していると思っています。川口に「被災地と埼玉をつなぐ会」というボランティア団体があり、代表が吹上さんという方なのですが、旦那さんが私の学生時代の友人という縁です。行きはじめると新たな人間関係ができて、それが励みになってまた行きたくようになりますね。先日のバスツアーもそうしたことあって大勢の方が参加してくれて大変よかったですと思います。



**Q. 座右の銘、政治信条をお聞かせ下さい。**

**A.** 何とんでも、「I have a dream・・・」という、キング牧師の有名な演説の冒頭の言葉です。「**私には夢がある・・・、人種で差別されない時が来る。**」感動的な演説です。弱い人を守るという、私自身の原点です。

それは、私が代々木病院に入院している時に感じた様々な思いに重なります。高齢者や弱い人、不幸な人を救いたい・・・。入党した動機もそうですし、今もそれは同じです。

**Q. 最後にあらためて決意をお願いします。**

**A.** 浦和区は7議席のうち3議席も自民党がしめております。浦和区に共産党市議がない弊害も

あちこちに現われています。最近傍聴席から、共産党の質問に対する清水市長の態度を見て良く分かりました。真面目に真正面から答えようとしません。

私も含めてさいたま市全選挙区での議席確保、見沼区では複数議席確保を目指し、合計11議席の強力な議員団をつくりあげたいですね。60人の定員で11人ともなれば、政令都市でも相当強力な議員団になり、市政は大きく変わります。

安倍内閣の集団的自衛権容認の流れを阻止するためにも、是非とも来春の市議会選挙では皆様のご支援をお願い致します。(古澤 英二・記)

<p>川柳</p> <p>人殺す 武器はいかがと 外遊し 居眠りと ヤジに支払う おらの税 安倍辞める 声高々と 官邸前</p> <p>岸町…だん吉</p>	<p>なぞかけ</p> <p>安倍首相とかけて 湿度の高い夏と解く その心は 民意をムシする</p> <p>岸町…佐久間 純</p>
--	--

★街角だより★

お米と自然食品の店「米工房ひろおか」

本太:小川 洋夫

本太1丁目、東仲町、前地3丁目が交差する浦和東口から歩いて10分程の仲本公民館の先には、花屋さん、ヘアサロン、八百屋さん、魚屋さん、そして今回紹介するお米と自然食品の店「米工房ひろおか」(本太1-1-1 TEL048(882)2942 月曜定休)と、ちょっとしたミニ商店会で賑わっている一角があります。

店主によりますと、今から61年前の昭和28年、日の出通りに「広岡米穀店」として創業し、6年前に現在の地でお米と自然食品の複合店舗として現在に至っているとのこと。

乾燥無洗米機を備えた精米工場と低温倉庫を備え、すべて1、2度すすぐだけですむ乾式無洗米として販売していることが特徴とのこと。8割は無農薬または減農薬米で、玄米、胚芽米、分つき米も2kgから承るとのこと。

毎週日曜日は、朝から産直野菜や果物などの日曜市で賑わっています。夏の目玉はとうもろこしだそう。甘いサニーショコラを朝採りで入荷。また豆乳で作ったアイスクリーム、アイスキャンディも人気だそうです。

また夏の恒例「夏休み応援セール」として、加須市の生産者の減農薬減化学薬品栽培米「まつり晴れ」を5kg 税込で1,898円のところなんと1,598円で販売しているとのこと。(8月末まで)近くにお越しの節は気軽にのぞいてみてください。

★埼玉平和美術展 8月12日(火)～17日(日)

埼玉県立近代美術館

★映画「ぬくめどり一鷹匠の世界」8月16日(土)彩の国さいたま芸術劇場 三室九条の会協力①10:30～②14:00～トーク有③18:00～

★映画「はだしのゲン」8月21日(木) 埼玉会館小ホール①10:30～②14:00～

★映画「日本の黒い夏～冤罪」8月23日(土) 埼玉会館①10:30～②14:00～電話予約千円・当日千200円 ☎822-7428

★うた声9月6日(土) 14:00～パレット 後援会主催



《編集後記》 一二年七月号からスタートした後援会ニュースも六月号で満三年。振り返ると、『うらわ宿』の命名は一三年六月号から。野々垣会長の手書き題字だ。ニュース編集部ができたのは今年五月。スタッフ五人集まるとアイデアも豊富になる。9月には、『うらわ宿』のHPが立ち上がる予定だ。日進月歩の感あり。感想・意見・情報は下記へ(きよた)

編集部アドレス: urawajyuku@aroma.ocn.ne.jp